

雑 感

JJ1SXA 池

第2次世界大戦の後、昭和27年にアマチュア無線が再開されて、今年で満50年になるようですが、オジングループ？と言われる240グループでも、流石にその前からアマチュア無線をやっていたという人はいないようですね、それどころか、第2次世界大戦とは何だ？という局の方が多いかも知れません。

電波法、放送法などのいわゆる電波三法が制定されたのは、昭和25年6月1日のようです、そして、電波法(国内法)の中に、国際電気通信条約を基に「RR2735・2736」など素人無線局の規定が盛り込まれ、晴れてアマチュア無線の再誕生となったようですね。

時代は変わり、今や携帯電話やインターネット花盛り、一昔前とは価値観が全然違う世相となり、アマチュア無線は、衰退の傾向が著しいようで、特に若者の間では顕著のようです。

インターネットは、通常の電話回線で無くとも、ケーブルテレビであれ、光ファイバーであれ有線でつながっているし、携帯電話も一部無線を使っても有線電話には変わり無く、基本的には無線とは全く違います。

そんな時代だからこそ、アマチュア無線を大事にしたいものですね、と言いながら、余りアクティビティが上がらない今日この頃を大反省です。

CQ誌1月号の50MHz特集に見る、大アンテナ群、中でも一段と目を引く、10エレ八木の2列2段に只々息を飲みました。

何がアマチュア無線の衰退ぞというところですが、上を見ればきりがありません、自分に許される環境の中で、最大限の努力が出来るか、出来ないかが問題ですね。

21世紀に入って、早やくも1年余、IT関連も含め不況・デフレの嵐は吹き止まずですが、技術革新は日進月歩、間違いなくどんどん進んでいます。

昨年中のニュースで、唯一救われたのは、年末の皇孫ご誕生です、国民の大多数がこのビッグニュースに喜んだ事でしょう、高齢出産の部類かと思われませんが、現代の医学をもってすれば大した事では無いのでしょうか。

ひるがえって、先日の、H2ロケットの失敗は、初歩的ミスが原因だったようですが、桁違いのと言うより、私達庶民にすれば夢のまた夢のような膨大な金額をつぎ込んで、全くお粗末な結果です。

人間はミスをする動物、技術がどんなに進んでも、ミスをいかに防止するかのソフトを完全にしなければいけないと、つくづく感じました。

第52号(平成14年3月発行)掲載